



2023年5月23日

株式会社 阿波銀行

E-ene 株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、E-ene 株式会社（代表取締役 江川 将史、本社：徳島県阿南市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	E-ene 株式会社
所在地	徳島県阿南市那賀川町苅屋 346 番地
代表者	江川 将史
業種	再エネ発電所建設コンサルタント業
設立	2019年11月1日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2023年5月23日



E-ene株式会社 代表取締役 江川 将史

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	社会的課題を事業課題として捉え、自社も含め再生エネルギー普及に積極的に取組みます。	① 取引先企業の再エネ率に貢献するため自社を含め、県内外の企業の遊休地、駐車場に太陽光発電を提案		
			② 自社がロールモデルとなり、2025年までに再エネ率を30%に引上げ		
環境・経済	地域活性化・産業振興	持続可能な社会の実現のため、農地の保全および営農者の所得向上に努めます。	① ソーラーシェアリングを提案し耕作放棄地問題を解消		
			② 県内営農者向けに年5世帯提案		
環境・社会・経済	法令情報管理の徹底	業務に関わる新規法令の適用や法令の改正について、常に情報収集に努め、法令順守を徹底します。	① (1)最新の法令の改正・新規制定の情報収集 (2)法務・コンプライアンス担当の設置		
			② 随時法改正を確認、有効性を確認することで不適切な要望については拒否、指導をおこなう		
社会	社会・地域活動の情報発信の推進	地域社会の一員として、地域・社会への貢献活動を積極的に行い、地域の魅力を広く社内外にPRいたします。	① 会社ホームページやSNSで社外へ発信		
			② HPを作成。年1回、経営理念、社会貢献活動を発信		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。